



2年ぶりの開催!! 埴生公民館納涼音楽会

8月3日(日)、埴生公民館主催の「第70回納涼音楽会」が信州の幸あんずホールで開催されました。

上の写真は埴生小学校4年生のソーラン節の演技です。他に7団体の皆さんが合唱や合奏を披露し、音楽会を盛り上げました。

特集 夏休みの思い出

《主な掲載記事》

特集 夏休みの思い出……	2～3
夏山ハイキング……	4～5
各館の活動報告・市民講座……	5
サークル紹介・わがまちの自慢……	6
リレーエッセイ・成人式実行委員会開催 ……	7
もっと知りたいふるさと……	8
(稲荷山地区)	

特集

夏休みの思い出

屋代公民館

「ビンの中の海」上手に
できたよ！

東小学校6年 近藤 凜人^{りん}

8月7日(木)、「海中たんけんにいこう！」に参加しました。ビンの中に海を作る、工作の教室です。僕は、参加する前から、海底のような感じに作ろうと決めていました。シンプルでかっこいいと思ったからです。

公民館には同じ学校の友達もいて、一緒に先生の説明を聞いて、ダイバーの人形を選んだり、いろいろな色の砂を選びました。僕は海底風にしたので灰色をベースに白い砂と小石を混ぜていきました。次に、貝と海藻、クジラっぽい魚を選んで自分風にビンに入れました。配置をしていくのが難しかったけれど、お箸やトングで修正して良い位置に砂に埋めました。



同じ班のみんなで作品と一緒に
(右端が近藤さん)



海底風に
できたよ！

最後に水とダイバーの人形を入れると、ビンの中が一気に海底風になりました。本当に探検しているような作品になって大満足でした。ビンのフタにキラキラしたデコレーションを張って完成しました。気に入ったので玄関に飾ってあります。楽しく参加できてとてもよかったです。

殖生公民館

楽しかった殖生こども
カレッジ

殖生小学校6年 春日 大空^{そら}

今回お母さんと弟と参加した公民館でのカレー作りがとても楽しかったです。

はじめに栄養の勉強をしたあと、調理室に移動してカレーに入れる野菜などをみんなで切りました。野菜を切るとき、タマネギが目にしみて、痛かったです。でもタマネギ以外はスムーズに切ることができました。あとニンジンも最初は苦戦しました。なぜかというところからでした。力がある作業だったので、先生が手伝ってくれました。

おおいの人数分の野菜を鍋に入れてかき混ぜました。材料を入れるほどかき混ぜる力が必要なので、腕がきつ



親子で夏野菜カレーを作っています

ったです。カレーのルーを入れたらまだ水っぽかったので追加してもらいました。何回か追加しているうちに、カレーがいい感じになりました。できあがったカレーの鍋を和室に運んだのですが、みんなが「重い」と言っていました。席についたあと、カレーやご飯を盛りました。あとデザートにヨーグルトがありました。カレーを食べたらおいしかったです。そのせいで少し残してしまったのでお母さんにあげました。ヨーグルトには果物がたくさん入っていてとてもおいしかったです。食べ終わってみんなで食器などの片付けをした後、野菜クイズ大会がありました。わからない問題もあり、適当に答えましたが、わかる問題を正解したので、折り紙を追加でもらうことができました。楽しかったのでまたいつかいこのような講座をやってほしいです。

稲荷山公民館

夏休み子どもゼミナールに参加して

治田小学校6年 高野 純平^{じゅんぺい}

夏休みが始まってすぐの7月25日に、稲荷山公民館で夏休み子どもゼミナールに参加しました。

僕は、4年生の時に兄と参加してとても楽しかったのでも今年も参加しました。

今回、一番印象に残っていることは木工教室です。担当の先生に作り方を教えていただき、短い時間で手際よく「なんでも棚」を作ることができました。机の上に置いてこれからずっと使える棚です。大切にしたいと思います。

この他にも、スイカ割り大会、千曲かるた大会など盛りだくさんのイベントを楽しむことができました。毎年、子どもたちが楽しめるようにいろいろなことを考えてくれているなと思いました。

協力してくれたすべての人たちにありがとの気持ちです。

稲荷山公民館

楽しい思い出のゼミナール

治田小学校5年 北澤 杏彩^{あずさ}

稲荷山公民館の夏休み子どもゼミナールに参加しました。

私が楽しかったことは2つあります。

1つ目は木工教室です。今回は「なんでも棚」を作りました。「なんでも棚」は、釘を打ったり、ボンドで貼り付けたりします。釘を打つ時は手をとんかちでたたかないように気をつけながらやりました。ボンドで貼り付ける時は、ボンドがすぎ間からはみ出さないように工夫しました。むずかしいけれど、楽しく作ることができました。

2つ目は、すず虫をもらったことです。すず虫は赤ちゃんで、とてもかわいらしい様子で動いていました。そのすず虫は、わずかに3センチから5センチほど。楕円形の黒いすず虫です。一緒に渡してもらった飼育方の紙をよく読んで環境を整えました。すず虫は嬉しそうに動き回っていました。

今日は学年を問わず関わり、知り合いとは絆を深め合える思い出に残る楽しくて大切なゼミナールになりました。



釘を慎重に打っています

八幡公民館

ニラせんべいとデスクトップ作り

八幡小学校5年 北村 瑛人

僕は八幡公民館の夏休み親子教室に参加しました。最初の「ニラせんべい」はニラをハサミで切って、材料を全部まぜて焼くのが楽しかったです。その後みんなで食べました。

「山と森林の働き」を川西地区里山振興会の人から聞きました。それは山崩れをふせいだり、湧き水を作ったり、酸素を作ることを聞きました。「デスクトップ」作りは大変難しかったです。それぞれの部品に鉛筆で印をつけて、そこにボンドをぬり、釘を打ち直したり、引き出しがきつくてうまく動かないので調整したりしました。みんなも大変そうでした。最後に作品を持って全員で



デスクトップを作りました

今日の記念撮影をしました。楽しい時間でしたが疲れました。来年は妹と一緒に参加したいです。楽しみにしています。

戸倉公民館

おや子deうどんづくり

五加小学校2年 猿田 羽桜

7月27日(日)、戸ぐらそうぞうかんの「おや子deうどんづくり」に、ママとわたしで行きました。

わたしは、はじめてうどんづくりでした。最初は、ちよつとドキドキしました。さいしよに、ボウルにこむぎことしお、水を入れて、よくまぜたらジップロックのふくろに入れて足でたくさんふみしました。うどんを休ませているあいだに、ニラのちようみりようをつくりました。あじみをしてみると、からみはちよつとだけしました。ニラとうどんを切るのが、むずか



うどん作りの説明を聞いています



切るのが難しい

しかったです。うどんづくりがおわって、休けいじかんになったら、手づくりのじゃがいものドーナツをいただきました。おやつを食べられてうれしかったです。おうちにかえたら、うどんをゆでてもらいました。太いのとほそいのがまざっていただけ、もちもちしておいしいかったです。みんなから「おいしいよ」とほめてもらいました。たのしかったので、また行きたいです。

上山田公民館

私の初体験

上山田小学校6年 内堀 遥乃

私は、夏休みに「みんな集まれ!地域学習」に参加しました。そこで私は2つの初体験をしました。

1つ目は、モルック体験です。モルックというスポーツは、テレビなどで知っていましたが、実際にやったことはありませんでした。モルックとは、モルックという木の棒を投げて、スキットルという木のピンを倒し、その倒し方



ノリノリで踊ってます!

で得点を競うゲームでした。緊張していましたが、チームの友達とアドバイスをし合い協力してできました。また機会があればやりたいと思いました。

2つ目は、ヒップホップダンスです。私は、もとからダンスが得意で毎日踊っているくらいでしたので「簡単でしょ!」って思っていました。だけど想像以上に難しくて覚えるのが大変でした。最後は、みんなとノリノリで踊れてとても楽しかったです。

この「みんな集まれ!地域学習」は私に初体験をさせてくれました。夏休みのいい思い出になりました。



初めてのモルックに挑戦!



車山高原山頂にて記念撮影

8月3日(日)、楽しみに待っていたバス旅が、午前8時に稲荷山公民館を出発しました。見なれた景色の千曲市も車体の高さで新しい町を訪れたような気持ちでした。40分程走ったところで、鮮やかな朱塗りの生島足島神社の

稲荷山公民館
車山高原 霧ヶ峰高原
治田町分館 手島 三代子



鳥居が右に見えました。バスは山中へと進み、さわやかな木々のシャワーを浴びて白樺湖の上へ。この辺りから山岳道路に入りしばらく進むと、前方から私たちのバスとすれ違いに真紅に統一されたミニクーパーが50台程で、走って来ましたが空の青と湧き立つ雲と絵になって心が踊りました。

車山高原は標高1925mの山で、駐車場から15分かけてリフト2基を乗り継ぎ山頂へ。リフトは4人乗りで、きれいなウグイスの声を聞き、話に花が咲きました。山頂では、360度が見渡せてどこまでも歩いて行けるようでした。霧ヶ峰高原には20分程で到着し、霧ヶ峰塔を目ざして歩き始めると、馬がいたり無数のトンボたちが出てきてくれました。歩きながら咲いている花の名を「これは?」「これは?」「可愛いね」と言っている間に霧ヶ峰塔へ。4つの石の上には東西南北の山名が記されていました。

本日の旅には若い人たちが参加されていてとてもうれしく思いました。次のバス旅も楽しみに待っています。

戸倉公民館
新緑の上高地ハイキング
仙石分館 小松 いずみ

初めて参加した公民館ハイキングは、6年ぶりの開催とあって館長引率のもと職員2



雨の上高地も風情があります

人とガイドの児玉さんを含め、満席での出発となりました。

朝からどんよりとした梅雨空模様で何とか1日もつてくれればと祈っていました。高速を降りるころにはバスのワイパーは忙しく動いていました。そんな中でも車窓から見える景色に会話も弾み、近づく上高地に気分もワクワクしてきました。

河童橋に着いてからは2手に分かれ、私たちは奥穂高神社を目指すことに。片道4kmのコースでしたが、児玉さんのガイドを聞きながら歩く道のりは雨も気にならないほど楽しい時間となりました。絶滅危惧種のクリン草は濃いピンク色の小さな花。梓川に流れ込む湧き上がる清水川の源泉、マイルストンの上で芽吹いた小さな木、手を差し込むと涼しい風を感じる風穴、森の掃除屋さんのキノコ、キラキラ光る苔、隈笹に負けないように倒木の上で大きく伸びた木、光を求めて上へ上へと伸びる木々等、厳しい環境の

中で生き延びるための自然の知恵と生命力を感じました。明神橋を渡り、古くより天皇家と深いつながりのある穂高神社奥宮の鳥居をくぐり、目的地に到着です。ここで雨宿りをしながら楽しみな昼食をとりました。

帰り道、整備された遊歩道を歩いているとサルの親子に出会いました。今日は雨だからクマもサルもお休みでしょうと聞いていたのでもともとラッキーでした。所々にクマよけの鈴が設置してあったり、池で泳ぐマガモの姿があったりと、動物たちと共存する森の姿も見ることができました。

これまでも上高地を訪れたことはありましたが、穂高連峰に囲まれた自然の中にある生存競争の厳しい森、動物たちと共存する森を改めて知り、そんな上高地を過去一番楽しむことができた。次回は秋の上高地に行ってみようと思います!

上山田公民館
市民ハイキング 八方池
西澤 敦子

登山など高校以来ではないだろうか。というところは40年ぶりか。山は好きな方だし、長野県に住んでいるのだからいくらでも機会はあるのに。久しぶりで会った友人に誘ってもらっての参加。偶然の好機を喜びつつ当日を待



神秘的池「八方池」をめざして!

った。ハイキングコースは初心者OKとのことだったが、犬の散歩に毎日履いている靴は底がツルツル。「山をなめたいいけない」と登山靴だけは新調した。白馬はきれいに晴れていたが暑い。登山道は木道もあるが上り坂(山だから!)でキツイ岩場も多く、一歩一歩確かめながら歩かないと危ない。予定外の出費だったが「登山靴を買ったのは大正解だったな」などと考えながら吹き出る汗を拭いながら進む。森林浴登山もいいが、この白馬のような眺望が開けているのも実に清々としていて良い。見上げる先を歩く人々の列やケルンが望めるし、見下ろすと白馬の街並みや空中に浮かぶパラグライダーを彼方に見ることが出来る。吹き抜ける風は涼しく暑さと疲労を吹き飛ばしてくる。途中の雪渓では本格的な登山気分も味わえる。そして何より八方池から見える山々は圧巻だった。その日本離れしたスケールに圧倒された。写真に何枚



出発前に八幡の皆さん全員で
(八幡公民館)



すばらしい景色を背景にパチリ
(屋代公民館)

8月30日(土)、好天の中、総参加者105人で上高地の大自然を楽しみました。

屋代・八幡公民館 2館合同夏山ハイキング

も収めたが、その凄さはとても再現できるものではない。初心者の私でも登山靴しか装備がなくても、こんな絶景を目のあたりにできる長野って良い所だと改めて思いました。職員の方々には終始、私たち参加者を気遣っていただき、そのお陰で楽しい1日となりました。ありがとうございました。

各館の活動報告

増生公民館

「納涼音楽会」に参加して

あんず室内合奏団

団長 三好 由美子

8月3日(日)に、更埴文化会館で増生公民館主催の「第70回納涼音楽会」が開催されました。私の所属する「あんず室内合奏団」も参加する機会をいただき、合計8団体が演奏を披露しました。

あんず室内合奏団は、ヴァイオリンやチェロなどによる弦楽合奏の練習を重ねている有志の団体です。納涼音楽会では、映画『ニュー・シネマ・パラダイス』より「ナタの愛のテーマ」と、ジョン・ウィリアムズ三部作のメドレー2曲の映画音楽を演奏しました。

私たちは、演奏歴に長短があり、年齢や職業がさまざまな団員が集まっているため、全員揃っての練習や技術の向上に課題があります。合奏を楽しむ心は、全団員で共有していると思っています。納涼音楽会では、そんな「アンサンブルの楽しさ」を少しでもお伝えできたでしょうか？

久しぶりの参加ということもあり、リハーサル時間配分やステージへの移動など、段取りに戸惑うこともありましたが、運営スタッフの迅速な対応とご配慮により、無事



納涼音楽会で演奏しています

演奏を終えることができました。ありがとうございました。

舞台に上がっていない時は、客席で他団体の演奏を聞いていました。元氣いっぱい歌や踊り、澄んだ歌声に息の合った合奏など、他団体の演奏も楽しむことができました。

最後になりましたが、音楽会までの準備にご尽力してくださった増生公民館の皆さま、当日の運営に汗を流してくださった分館役員各位に礼を申し上げます。

上山公民館

二プレーに込めたみんなの力

力石支館 合津 せな

私たち力石ソフトバレーボールチームは、毎週仲間たちと練習をしています。そしてこの支分館親善ソフトバレーボール大会での勝利を目標に、今回もお互いに励まし

合いながら取り組んできました。

今回の大会を振り返ると、一人ひとりが一プレーに込める想いがより強くなったと思います。諦めないでボールを追うプレー、ライン際のボールを粘り強く見極めて拾うプレー、シャツの裾まで入れて、ファウルに気をつけてながらのネット際の攻防戦、そして確実に点を取るためのセッターの判断と強烈なスパイク。一プレーへのこだわりが、勝利につながったと感じました。

多くの方々に支えられ、応援していただき、楽しく爽やかな半日を過ごすことができました。ありがとうございました。「スポーツを介して知り合う仲間ってすごくないな」と思います。これからも仲間たちと一プレーを大切にしながら、練習に精を出していくことにします。

優勝 力石Aチーム
準優勝 漆原分館
3位 オール八坂



力石支館の皆さん

市民講座

7月26日、「第20回人権を守る市民集会・令和7年度市民講座」が、美容家でありタレントとして活躍されているIKKOさんを招き、あんずホールで開催されました。

「歳を重ねても輝き続ける秘密、あなたと私の素敵な人生のために」をテーマに行われた記念講演(トークショー)では、自身の半生を振り返り幾多の困難、悩み、苦しみ乗り越えてきたエピソードを、自身に勇気をくれた歌も披露しながら紹介してくださいました。「きれいになりたいと、自分を信じてこれまで歩んできた。どんなに苦しくてもブレないこと、前向きな気持ちが大切」と話されました。後半は、歌や踊りを披露。観客席を回り、大勢の参加者と触れ合うなど、会場は大いに盛り上がり、元気をいただきました。



観客の皆さんと記念撮影

サークル紹介

ハモニカサロン

屋代公民館 越 みよ子

ハモニカ1本を手に、「我が家の居間」から平成30年にハモニカサロンがスタートしました。月1回、孫が小学校から帰宅するころ、ババたちのおしゃべりと笑顔、時々奏でるハモニカの音色。それが宿題する孫のBGMでした。現在メンバーは9人、平均年齢80歳です。「無理せず、楽しく、心地よく」をモットーに、月1回月曜日に集合して、昭和演歌一筋のメンバーの名演奏に耳を傾けながら口ずさみ、耳慣れた曲や好きな曲に挑戦しています。おしゃべりと笑いが複音ハモニカの音色を美しくする準備体操になっています。

「KBE」上山田・ブラス・アンサンブル
上山田吹奏楽団 若林 和明
このバンドは、1986年に上山田文化会館をホームとして発足し、上山田文化団体連合会に加盟。細く長く活動を続け、今年で創設39年目となります。

正式名称こそ「吹奏楽団」ですが、「小編成ビッグバンド」の形態で、ジャズ・映画音楽・歌謡曲等、ジャンルを問わず演奏しています。

愛称は、Kamiiyama da Brass Ensemble（上山田・ブラス・アンサンブル）の頭文字を取って、「KBE」です。ピアノ、ベース・電子楽器等、吹奏楽ではあまり見かけない楽器構成も、「KBE」の魅力の一つだと思っています。

メンバーは年齢・職業もさまざまですが「音楽大好き！」という共通の思いで集まり、練習・演奏に取り組んでいきます。自主性を重視し、自由に



普段の練習の様子です

楽しく活動できるバンドです。毎週日曜日の夜、上山田文化会館大会議室で練習に励んでいます。

毎年4月に行われる「上山田文化会館誕生祭」では、日ごろお世話になっている方々に感謝の意を込めてミニコンサートを開催しています。

また、7月6日には恒例の「KBEライブ」を、上山田文化会館ホワイエにて開催し、たくさんのお客様にご来場いただきました（左記QRコードからご覧いただけます）。

他にも、さまざまな音楽祭や千曲音楽祭への出演を主な活動としています。

少人数のバンドですが、一緒に演奏できるメンバーを随時募集しています。

興味を持たれた方は、上山田文化会館までご連絡ください。

▼KBEライブの様子はこちらから視聴できます



「上山田文化会館誕生祭」ミニコンサートの様子

特集

わがまちの自慢

八幡七頭の湧き水

八幡公民館

ながた よしあき

こないだ家の嫁さんに聞いたんだけど「八幡へ嫁にきて良かったことってあるかいやー」って、そしたら「八幡へきて良かったことはそんなにはねえけども、水道の水だけはうめえな！」ってことですわ。「他にやーねえだかい」「ねえな」で話は終わっただんだわ。

さてここで八幡小学校校歌の一節に「泉も古く七がしら」とあって。八幡地区にはいくつもの湧き水があるんだけど、そのうちの代表的な湧き水が「七がしら」って呼ばれてんだ、その中の3つが水道の水源になってて、これが冷っこくてうめえんだわ。で！3つの水源の内の1つ、「郡頭無し」清水に5歳位のころ、爺さんと歩いて行った思い出があるんだけど、デカ



導水工事



郡頭無し水神

くたまげたわな、岩の裂け目から水がどどん流れ出ていて、「何十年もかけて山に降った雨がこういうふうに出てくるんだどー」って聞かされたことがあったわな。現在はコンクリートで覆われて当時のようには見えねえんだけど。

ところで、今みてえに水道の蛇口から水が出る前は、井戸水や川の水を飲んだり、洗い水に使っていて、えらく難儀してたけど、昭和30年9月に水道工事が完工してみんなの家の蛇口から飲めるうめえ水がでるようになったんだわ。

当時はまだ八幡村で戦後の苦しい財政下、村有林の木を伐採して売り、現在のような建設機械も無い中、村民総出で水道管の敷設工事を行ったと、爺さんから聞かされました。工事に係わった方々の苦労は大変なものだったと思います。

その後、施設も今の時代に対応したものとなり、各家庭では十二分にその恩恵に預かっております。ありがたいことで、感謝の心しかありません。「上水道完成記念碑」は武水別神社八幡宮の入り口左側奥にあります。わが故郷の自慢です。

打沢を知ろう

打沢 竹内 久



石垣の古い掲示板

本年度の公民館活動の新しい試みとして、「打沢を知ろう」というイベントを計画しました。近年打沢は、新しい住人が増え、その方々に「少しでも打沢を知ってほしい」「新旧の住人と知り合う機会を作りたい」という願いから、誰もが参加できるイベントを6月28日(土)に開催しました。当日は、大人や子どもを含め約40人近くの参加がありました。

はじめに案内したのは、「石垣の古い掲示板」です。

この石垣作りの古い掲示板は、ただの掲示板ではありません。

せん。台座は、積み石で構築され、今も打沢区の掲示板として連絡通知や神社のお札などが貼られています。場所は、打沢の旧北国街道から西に入る道を80mほど直進すると、南北に分かれる辻があります。その左側に「石垣の古い掲示板」があり、その近くには、道祖神や打沢公民館もあり、いかにも打沢の中心地といった場所です。

この積み石台の掲示板は昔から「ごはんや」と言われ、江戸時代の「高札場」であると伝えられています。

江戸時代の打沢は、元禄16(1703)年より幕府の天領となり坂木・中之条陣屋(代官所)の支配下となりました。多くの住民に代官所からの連絡事項を伝えるために、南へは鋳物師屋、北へは桜堂へ通じる場所でもあり、人の集まる分岐点でもある最適なこの場所に高札場が設置されたと考えられます。

高札(武家時代に法度・掟書などを記したもの、人目を引くところに高く掲げた板札)、御判(印刷・書判の尊敬語)ということから、「ごはんや」は「御判屋」からきている言葉だと思われます。



打澤神社

次に、「打澤神社」へ行き、本年度の神社運営委員長に、普段は入れない社殿の中を特別に見せていただき、神社の成り立ちやご神体のお話、催事の方法など詳しくお話を聞きました。

お話の中で、「祭神」は「健甕名方命」「事代主命」「宇賀御魂命」「火結神」が祭られており、火結神は、もと秋葉社と称し、宇賀御魂命は、もと稲荷神社と称して村内にあったものを合祀したとされているそうです。また、社殿の壁には、打澤神社に関わった多くの人々の名前が記されており、地区の氏神様として昔から人々が大切にしてきた神社であることがわかりました。

さらに、社殿から外に出て、境内に祀られている神々についても教えていただきました。



熱心に説明を聞く参加者(打澤神社)

た。境内には、天領の名残を留める「東照宮」、学問の神様「天満宮」、養蚕信仰の「馬鳴尊」、陰暦の月を拝む行事の「二十三夜碑」、三峯神社に関わる「三峯さま」、武水別神社に関わる「八幡さま」が祀られています。これらを紹介していただき、打澤神社が地区の人々から愛され、厚く信仰されている理由がわかりました。

今回の「打沢を知ろう」のイベントを通して、区民の皆様に歴史的建造物を知っていただくとともに、打沢の歴史について理解を深めていただくことができ、今後も後世に大切に残していきたい貴重な「打沢の宝」だということを知らされたのではないかと思います。

成人式実行委員会開催

8月28日(木)、戸倉創造館において、第1回千曲市成人式実行委員会を開催しました。

当日は各公民館から選出された実行委員が集まり、正副委員長を決定し、成人式当日の運営や、役割分担を決めました。

今後はみんなの思い出に残る成人式になるよう、活動を開始していきます！

今年度の千曲市成人式は、令和8年1月11日(日)に開催予定です。



みんなで頑張ります！



※「館報ちくま」及び「もっと知りたいふるさと」は千曲市ホームページでご覧になれます。

もっと知りたい

ふるさと

106

稲荷山の小路を歩く

稲荷山の歴史は天正10（1582）年からと意外と浅いものだけに与しやすいところがあります。千曲河原に町を造るという発想がそもそも面白いではありませんか。この地に住まう者であれば毎年氾濫する地に町を造ろうなどとは考えません。善光寺平の要衝の地であればこそこの町造りであつたわけです。

さて、この町に長く住んでみると居心地の良さを感じ、お天気さえ良ければふらっと町を散策してみたくなるのです。この町は今から40数十年前に上杉景勝が町割りをしたままの状態が残っていますのでそのころに想いを馳せながら町歩きを楽しめます。言わ



町屋敷東蔵小路入口道標



町屋敷東蔵小路の土蔵群①

ば自分の好みの時代にタイムトラベルができてしまう密かな楽しみを味わえる町と言えるのではないのでしょうか。

前置きが長くなりましたが、このころの城下町は小路が至る所にあります。この小路を巡る散策が悠久の稲荷山を堪能できるのです。

稲荷山には南北に善光寺街道が通っており東西には幾つかの小路があります。今回の紹介は平成20年代に入り名付けられた町屋敷東蔵小路です。

この小路は上八日町のお地蔵さんから東に20ほど行ったところを北に入る小道です。他の小路と違うところは舗装されていない箇所があ



町屋敷東蔵小路の土蔵群②

ること、善光寺地震以降に建てられた蔵が連なっていることでしようか。土壁造り、漆喰塗、海鼠壁、腰板張り、パテエティーに満ちた土蔵群との遭遇は先人たちが通ったであろうこの未舗装の小路から語りかけられてくる楽しみがあります。

小路を入り突き当りを左へと道なりに歩きます。材木商小出商店の2階建ての蔵、薬種製造販売日新堂の土壁の大きな蔵を抜けると極楽寺参道に出ます（写真①②）。海鼠壁は呉服太物紡績糸を営んでいた小出五十二郎として蟹屋源右衛門邸と大店が続きます。家具製造販売の柳屋、和洋薬種砂糖を商っていた伊勢屋商店は小路を挟んだ土蔵も建てました（写真③）。明治期に建てられたこれらの土

蔵群はこの地籍である蔵屋敷の名前に恥じない圧巻の景観を呈しています。この小路は403号線を交差して本八日町の東町に通じています。

稲荷山には築城当時の小路もありますが、時代の流れとともに小路の名前も変わっていきます。城小路、馬出し小路、閻魔小路、西小路、河原小路、田廻り小路はそのころの名称と察せられ、寺小路は江戸時代、八郎右衛門小路は明治になってからのものです。

稲荷山の小路は東西に通じる小路がほとんどですが、今回の町屋敷東蔵小路は街道から1本東側に入った裏小道で



町屋敷東蔵小路の土蔵群③

街道と並行しています。魅力ある稲荷山の小路を歩き、自分ならではの稲荷山を発見していただければ幸いです。千曲市ボランティアガイド 楽知会 山口 清史

編集後記

今号の特集「夏休みの思い出」と「楽しかった夏山ハイキング」は、各公民館が開催した講座に参加した体験が寄せられ、「楽しかった」「また参加したい」という感想が多くありました。来年も楽しく参加できる企画が催されることを期待します。

私の半世紀以上前の子どものころの思い出は、朝、神社の境内に集まりラジオ体操を行ったことです。このときに境内にいるセミの幼虫を探すのです。捕った幼虫を持ち帰

り、庭木や網戸に掴まらせてり虫かごに入れておくと、翌朝セミが脱皮をして飛ぶところが見られるのでした。お盆が近くなると、親に「お盆中は殺生はだめだよ」と言われ、セミ捕りは終わりました。

このころ習った「手のひらを太陽に」（やなせたかし作詞・いずみたく作曲）に「ミミズだってオケラだってアメンボだってみんなみんな生きているんだ友だちなんだ」の歌詞があります。

世界の全ての人々が、友だちになる日が早く来ることを願っています。（屋代 T）